

K-RELEASE

企業局情報通信

K-RELEASE VOL.173

静岡県企業局

● 電話 054-221-2153

● F A X 054-251-5381

発行 平成30年10月25日

～地域に愛される景観・環境配慮型工業団地を目指して～

「富士山麓フロンティアパーク 小山」完成内覧会を開催しました！

富士山を借景にした森に佇む工業団地「富士山麓フロンティアパーク 小山」の完成内覧会を9月26日に開催しました。

東京駅、三島駅から貸切バスを運行し、首都圏、中京圏及び県内からゼネコン、デベロッパー、金融機関など29社48人に御参加いただきました。

【行程表】

- ① 説明会（小山町総合文化会館）
- ② 「富士山麓フロンティアパーク 小山」
- ③ 新東名・小山 PA スマート IC 工事現場
- ④ 優良田園住宅「わさび平」分譲地
- ⑤ 足柄 SA スマート IC 工事現場

【10/4 現在の状況】



現地見学に先立ち、県庁内の横断組織「国内産業振興プロジェクトチーム」のメンバーによる土地購入、設備投資に対する補助金、金融機関からの借入れに対する利子補給などの支援制度、小山町職員による町の支援事業についての説明会を行いました。

また、小山町が移住・定住対策として造成している優良田園住宅「わさび平」分譲地を見学し、働きやすい環境の整備などの雇用確保対策にも取り組んでいることもPRしました。

さらに、中日本高速道路株式会社が2020年の供用開始を目指している「新東名小山パーキングエリア・スマートインターチェンジ」の工事現場も見学しました。「富士山麓フロンティアパーク 小山」から約4km（車で約5分）の位置にあり、供用開始後はアクセスが格段に向上します。

参加者からは、「交通アクセスの良さ、水源の確保、分譲価格、小山町の手厚い支援など、多くの利点を確認できた」との声や、「企業にも安心して紹介できる団地だ」といった感想を聞くことができました。



CNF製品開発最前線**丸富製紙株式会社**

東駿河湾工業用水ユーザーの丸富製紙株式会社様が、昨年12月に経済産業省が選定する「地域未来牽引企業」に選ばれ、今年6月にCNF関連の地域未来牽引事業計画が県で承認されました。

今回、丸富製紙株式会社(富士市比奈 678)を訪問し日向常務取締役、野田執行役員、八木執行役員から詳しいお話を伺いました。

一丸富製紙がどんな会社か教えてくださいー

日本で初めて牛乳パックをリサイクルトイレットペーパーを製造した、家庭紙総合メーカーです。創業から62年、環境に優しい企業を目指して、オフィス紙や使用済み牛乳パックの回収などのリサイクル活動にも携わり、再生紙でも高品質で使い心地の良いトイレットペーパー、ティッシュペーパー、タオルペーパーを製造・販売しています。消費者のニーズに応え、パルプ100%の最高品質の家庭紙や、静岡らしいお茶を使ったトイレットペーパーなども扱っております。

日本一長いトイレットペーパー「超ロング」は、東京ディズニーリゾートでも使われているので、知らないうちに当社の製品に触れて実感していただけられている方も多いのではないのでしょうか。

一CNFに着目したきっかけは？ー

世界的なトレンドの中、当社でも平成27年度にCNFの研究開発を検討しましたが、コスト面などから家庭紙に活用するのは難しいと考え、一度、断念しました。しかしそれ以降も、企業局の「CNFサンプル企業展示会」に参加するなど、情報収集は継続していました。

昨年、経済産業省から「地域未来牽引企業」に選定され、「地域未来牽引事業計画」をつくる中で、設備投資への減税措置等もあったので、色々な可能性を試してみたらどうかと検討しました。県基本計画に紙関係では「CNFに関わる産業」があったので、社長に再チャレンジを相談したところ、「興味があるならば計画に入れて、CNFの可能性を探っていこう、その中で自社製品に活用できるならば使っていこう」という



日本一長い「超ロング」 ことになりました。

一地域未来牽引事業計画の具体的な内容は？ー

今は、CNFという素材からどんな新機能が生まれるかわからない状態ですが、家庭紙に使えるか、それ以外の分野に使えるのかをこれからやっていきます。現在、活用方法や特性をどうやって探っていけるか、富士工業技術支援センターと相談しながら、まずは、CNF製造のパイロットプラントを来春に導入する計画です。当社の技術・販路が活かせるのは家庭紙ですので、自社製品の家庭紙に添加していくところから始めていきます。そこで何か新しい機能が出てくれば面白いですね。

また、CNFの原料は地産地消で、一般消費者にわかりやすい素材を検討していきます。当社はお茶やフルーツ素材を使ったトイレットペーパーを造っているので、その技術を応用し、「お茶を使った」など消費者にわかりやすいものを、消費者目線で考えていきます。

当社は新しいことに取り組むことが好きな社風です。再生紙から始まり、再生紙の材料も新聞紙、オフィス古紙、牛乳パックと変え、近年ではバージンパルプを使ったものも造るようになり、紙の素材も次々と変えてきました。その中で、今度は新しいものにチャレンジということでCNFに取り組んでいきます。

一最後にひとことお願いしますー

CNFの研究開発について、全てはこれから。まだスタートラインにも立っていない状態です。これまで、新規分野の研究開発まで手が届きませんでした。製紙業界を生き抜くために研究開発を強化し、富士工業技術支援センターの人・技術・施設も活用して新しい分野に挑戦して行きます。

まずは、地域未来牽引事業計画の5年間で製品化を目指していきます。



パルプ100%こだわり品質のトイレットペーパー



(左)お茶を使った「緑茶の力」
(右)果物の香りの「フルーツバスケット」



今回お話を伺った
(右から)八木さん、日向さん、野田さん

探検！「富士川水管橋」管路ウォーキングを開催しました



企業局の広報活動の一環として、10月6日（土）に富士市内において、『探検！「富士川水管橋」管路ウォーキング』を開催しました。天候が心配されましたが、絶好のウォーキング日和となりました。

過去最多48名の方が参加され、全員無事に水管橋を渡ることができました。

出発

ウォーキングコース（往復約 8km）

目的地

富士川浄水場



施設見学



管路上をウォーキング



雁公園（かりがね祭り）

普段入る機会のない富士川浄水場を見学しました。参加者は説明を熱心に聞くとともに、積極的に質問をする等、知識を深めた様子でした。

皆笑顔で目的地の雁公園に到着しました。コース途中の水管橋（高さ17m）も渡りました。

参加者からの声



- ・普段入ることのできない施設を見学でき、水管橋も渡ることができて楽しかった。
 - ・浄水場の仕組み等の解説があり、大変勉強になった。
- ※参加者アンケートで、8割以上の方から「満足」との回答をいただきました。

募集中！
10/31まで

「三方原」管路ウォーキングを開催します

三方原用水路や初生浄水場等の企業局施設や工業用水の供給先の「中日新聞社 都田工場」を見学。



三方原用水路
沿いを散策



中日新聞社
都田工場を見学

日時 平成30年11月17日（土）9時30分～16時
会場 初生浄水場（浜松市北区初生町 1163-1）
対象者 小学生以上（小学生保護者同伴）
参加費 100円（保険料相当額） ※軽食持参
申込み 郵便、FAX、Eメール（住所、氏名、年齢、TEL）

水道事業の業務状況(平成30年9月25日現在)

9月の使用水量は、前年度同期比で、榛南水道は100.2%と増加しましたが、駿豆水道は89.2%、遠州水道は99.0%と減少し、全体では97.4%となっています。(単位：千m³、%)

水道名	基本水量(日量)		基本水量 a		使用水量 b		使用率 b/a
			9月分	累計	9月分	累計	累計
駿豆	当該年度	100	3,100	18,400	986	5,895	32.0%
	前年度同期	100	3,100	18,400	1,105	6,560	35.7%
	前年度同期比	100.0	100.0%	100.0%	89.2%	89.9%	
榛南	当該年度	27	837	4,968	480	2,894	58.3%
	前年度同期	27	837	4,968	479	2,862	57.6%
	前年度同期比	100.0	100.0%	100.0%	100.2%	101.1%	
遠州	当該年度	292	9,055	53,746	4,974	29,738	55.3%
	前年度同期	292	9,055	53,746	5,026	30,498	56.7%
	前年度同期比	100.0	100.0%	100.0%	99.0%	97.5%	
合計	当該年度	419	12,992	77,114	6,440	38,527	50.0%
	前年度同期	419	12,992	77,114	6,610	39,920	51.8%
	前年度同期比	100.0	100.0%	100.0%	97.4%	96.5%	

工業用水道事業の業務状況(平成30年9月25日現在)

9月の使用水量は、前年度同期比で、中遠工水は107.9%、湖西工水は107.6%と増加しましたが、柿田川工水は97.2%、富士川工水は84.4%、東駿河湾工水は99.1%、静清工水は98.9%、西遠工水は86.1%と減少し、全体では96.4%となっています。(単位：千m³、%)

工水名	基本水量(日量)		基本水量 a		使用水量 b		使用率 b/a
			9月分	累計	9月分	累計	累計
柿田川	当該年度	100	3,100	18,400	3,002	17,840	97.0%
	前年度同期	100	3,100	18,400	3,087	18,177	98.8%
	前年度同期比	100.0	100.0	100.0	97.2	98.2	
富士川	当該年度	104	3,231	19,180	2,141	12,553	65.4%
	前年度同期	108	3,356	19,599	2,537	13,998	71.4%
	前年度同期比	96.3	96.3	97.9	84.4	89.7	
東駿河湾	当該年度	371	11,512	68,747	8,742	48,636	70.7%
	前年度同期	404	12,533	74,263	8,817	50,173	67.6%
	前年度同期比	91.8	91.8	92.6	99.1	96.9	
静清	当該年度	52	1,574	9,433	1,226	7,146	75.8%
	前年度同期	52	1,568	9,406	1,239	6,785	72.1%
	前年度同期比	100.4	100.4	100.3	98.9	105.3	
中遠	当該年度	43	1,317	7,900	532	3,138	39.7%
	前年度同期	44	1,358	7,964	493	2,904	36.5%
	前年度同期比	96.9	97.0	99.2	107.9	108.0	
西遠	当該年度	41	1,242	7,449	677	4,148	55.7%
	前年度同期	42	1,256	7,524	786	4,315	57.3%
	前年度同期比	98.9	98.9	99.0	86.1	96.1	
湖西	当該年度	17	510	3,061	335	1,863	60.8%
	前年度同期	17	510	3,061	312	1,806	59.0%
	前年度同期比	100.0	100.0	100.0	107.6	103.1	
合計	当該年度	728	22,486	134,170	16,655	95,324	71.0%
	前年度同期	767	23,681	140,217	17,271	98,158	70.0%
	前年度同期比	95.0	95.0	95.7	96.4	97.1	

* 基本水量：給水を受けようとする市町や使用者が申請し、企業局が決定した予定水量

* 使用水量：企業局が市町や使用者に供給した水量